

お仕事 図鑑



日本ビジネスデータ
プロセッシングセンター

介護や支援サービスを必要とする
市民様に状況を聞き取りし調査票に
まとめるお仕事



公共福祉事業

認定調査 介護保険要介護 障害支援区分

市役所など自治体のもと、介護保険要介護・障害支援区分認定を
公平公正に調査する公共の役割を担います。

どんな人が向いてる？

CHECK LIST

- 高齢者や障がい者の方など誰とでも
分け隔てなくコミュニケーションできる
- ものごとを客観的に見られる
- 一人と深くより、
たくさんの人と幅広くかかわりたい
- 資格や経験を活かし人の役に立ちたい

1つでも当てはまった方はぜひチャレンジを！

大切な心がけ

病気や障がいの種類や重さ、介護の大変さを評価
するのではなく、「観察・聞き取りに基づく客観
的な状況」を全国一律の基準で、公平公正・正確
に項目ごとに選択肢を選びます。さらに選択肢だ
けでは表せない介護の手間など必要な情報をわか
りやすく記載し、認定審査会に伝えるスキルをつ
けていきます。

ソレ、どんなお仕事？

日本データーが委託契約をしている自治体において、
介護保険要介護・障害支援区分認定調査業務を行
います。日本データーの認定調査員として要介護認定や
障害支援区分認定の申請をされた対象者様のご自宅
や病院・施設などへお伺いし、対象者様の心身や支援
の状態について聞き取り調査を行い調査票にまとめ
ます。厚生労働省の定める資格や経験をお持ちの方が
実施する専門性の高いお仕事です。

未経験でも大丈夫？

保健、医療、福祉に関する経験や知識を持った調査
員が実施する専門性の高い業務ですが、介護支援専門
員や一定の国家資格を持って5年以上の実務経験が
あり、認定調査員研修を受講すれば、認定調査が未
経験でも可能です。

日本データで働くメリットは？

スタッフ一人ひとりが仕事力を蓄えていける環境です。制度に関する専門知識を習得しながら、応対接遇日本一を目指す日本データのビジネスマナーも身に付けていくことで、自信を持って働くことができます。全国各地の自治体で業務実績を持つ日本データだから、確かなノウハウと高い信頼を基盤に働く人をバックアップしていきます。



教育支援が充実

- ① 認定調査員テキストに基づいた研修
- ② 同行研修
先輩調査員の調査方法の見学や、調査時のベテラン調査員によるフォロー

日本データって どんな会社？

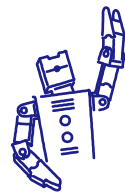
1968年創業の株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンターは、「公共福祉」「医療関連」「ITソリューション」「AI・ロボティクス・IoT」分野で、時代とともに社会貢献への可能性を広げ事業展開しています。公共福祉分野では、豊富な介護保険関連業務の受託実績を活かし、専門業者ならではの BPO（ビジネスプロセスアウトソーシングサービス）を実現します。

ITソリューション事業



医療関連事業

公共福祉事業



AI・ロボティクス・IoT事業

現場の本音 / 「ここがやりがい！」

公共性が高く福祉に
貢献できる

専門知識を学んで
活かせる

自分のライフスタイルに
合った働き方ができる

人と関わり喜んで
もらった時の満足感！

対象の相手様と「一期一会の機会」のため、短時間で安心感を持っていただくかわりが求められます。介護や支援を必要とされているご本人や、日々の介護に迷ったり困ったりされている介護者の方が、思いを聞いてもらえてスッキリしたと思えるような調査ができれば、それは私たち自身のやりがいにもつながります。質問に答えてもらうだけでは調査にはなりません。一人暮らしだから無理して何とかやっているけれど、本当は手を貸してほしいと思っていること、他者から見ても本当は適切な介助が必要な場面など、相手様が言えない何か、気づいていない問題にも目を向け掘り下げて確認することが大切です。そのため調査員には一定の資格要件が求められていますが、経験を重ねるほど理解や知識が深まることを実感しながら続けることができるお仕事です。多くの人の力となって喜ばれ、自分も成長できる業務でぜひ活躍してください！

教えて先輩！認定調査（介護保険要介護・障害支援区分）

プロとして、介護や支援の必要な人が
ほっと安心される笑顔を見たい。